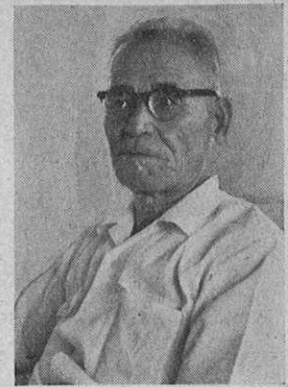


質問状 (第一回)

このことが聞きたい

この号から毎号、県下の各市長さんと郡町村会長さんに、県政に対するご意見やご質問、ご要望等をお聞きし、その中から特に皆さんの関心の深い問題を選んで、これについての県の回答とあわせて掲載することにしました。掲載順は市及び郡の五十音順とし、毎号それぞれ一名あてご登場願うことになりました。十一月十一郡ありますので、十一回連載する予定です。



荒尾市長 古閑幹士氏

荒尾市の場合

問 城北各市から熊本市へ通ずる道路は、いずれも立派に結ぶが、各市を横に結ぶ道路はどれも悪くこれが城北地域発展の一つのあいつとなつておられると思ひます。この横に結ぶ道路の改修と舗装を早急にお願ひします。

答 荒尾市から城北各市へ横に結ぶ道路としては、①南側の荒尾一玉名一植木を結ぶ二級国道熊本佐賀線②北側の荒尾一南関一山鹿一菊池一大津を結ぶ一般国道荒尾南関線③主要地方道の大牟田山鹿線④山鹿大津線の四路線があります。その整備の現況は、①の熊本佐賀線は木葉川沿いの部分を除いて、本年度全部改良が終了、舗装も荒尾まで完了し、県下で最も改良率の高い二級国道となります。②の北側横断道路は、荒尾から南関町

問 境まで約八・七千程改良済で、南関山鹿間にも五・六千程改良済区間があります。しかしその他は未改良でまた幅四・五米以下という狭い区間も延べ延長五千ちかくあります。今後の整備計画をのべますと、今年度を初年度とする道路整備五カ年計画の総枠が二兆一千億円で決定されましたが、国の方針としては、一日五百台以上の交通量のある区間の中から、昭和四十年の推定交通量九百台以上の区間を優先的に改良し、また舗装する方針ですから、県では現在改良工事施工中の山鹿、菊池間を改良し舗装する計画です。

また荒尾、南関、山鹿間及び菊池、大津間の未改良区間も昭和四十一年からの後期五カ年計画で改良を終える予定です。これら未改良区間のうち、局部的に特に交通の道路となつておられる区間は、前述の計画とは別に特殊改良工事として隘路の除去に努めるつもりです。道路整備は県の重点事業として大いに力を入れていきますので、何とぞご理解ご協力をお願いします。

問 荒尾市は色々な面で大牟田市と比べると、これが市民感情に与える影響は大きなものがあります。特に失業対策事業の資金をみて大牟田市との間に格差がありますので、特別のご配慮をお願いします。

答 ご指摘のとおり、特別失業対策事業及び臨時並びに炭鉱離職者緊急就労対策事業の資金は、お隣りの大牟田市との間に格差があることは県でもよく存じております。この事業の資金は「一般職種別賃金」といつて、毎年労働基準局が実施する屋外労働者の職種別賃金調べによる統計に基づいてきめられるもので、統計上では大牟田市と荒尾市の間には格差があつたものと思われまふ。しかし、大牟田市と荒尾市は密接不可分の関係にありまふので、これを切り離して調査することに矛盾があるように感じまふ。そこで、県としても、前記調査方法の是正等について、現在熊本労働基準局及び労働省に強く要望してまふ。

なお、一般失業対策事業の資金は、両市とも三百六十六万円となつていまふので、今後賃金改訂の場合にも、同一賃金を維持するよう労働省と交渉する考えでまふ。

芦北郡の場合

問 芦北郡の産業の中で、林業は非常に大きなウエイトを占めていますが、大部分が零細な民有林でありますので、県の強力な指導と援助を願わなければなりません。芦北林業に対する県の考え方をおきかせ下さい。又林業改良指導員の増員もお願いします。

答 芦北郡の林業は、これまで坑木生産に重点をおかれていまふたが、石炭産業の衰退にともない、坑木の需要は減少しつゝあります。又、芦北地方では伐期が十七年一二十年でしたから、林地の生産力も次第に低下していく傾向があります。そこで、今後の芦北林業の経営方針としては、坑木生産からパルプ材生産へ切りかえ、伐期も二十五年程度に延ばし、材積生長の増大と林地生産力の維持をはかることが必要ではないかと思ひます。特に技術的な問題、例えば単位面積あたりの植栽本数と成長量の関係、地力維持の方策等については、今年の四月発足した県林業研究指導所でも研究し、今後の指導を一層強力に行なうつもりです。

問 なお、零細な森林所有者に対する金融面の助成策としては、これまでの「伐採調整資金」に代つてちかく「林業経営維持改善資金」の取扱ひが始められますので、この利用も考えられます。

又、県では明年度から中小規模所有者を対象として、農業との総合営農設計をすゝめるため、モデル設計書をつくらせて指導する計画を立案中ではあります。なお、指導員については、一森林区に一名以上配置することになつており、芦北郡には五森林区に現在六名配置されていまふ。然し、県全体の林務関係職員の現員は定員に対して欠員を生じていまふので、その補充等についても考慮中ではあります。沿岸漁業の不振は他の郡についても云えることですが、芦北郡では特に水俣病問題以来漁民は漁業不振に悩んでいまふ。水俣病問題にしても、まだまだ解決したとはいえない実情です。芦北郡の漁業振興については、特にご配慮をお願いします。

問 芦北地方の漁業振興問題については、天草地域にひきつゞいて、沿岸漁業振興総合対策事業の特別助成地域として、三角町から水俣市に至る不知火海域の指定をうけるよう努力しておられます。また水産庁係官による地域漁業の実態調査も行われており、三十七年度から二カ年にわたる事業の実施を計画中ではあります。

漁業者の転業についても、なかなか困難なことはありますが、国でもいわゆる沿岸漁業構造改善事業の一環として就業構造の改善ということを取りあげ、転業の問題を検討しておられます。県でも三十七年度からの転業・転職が円滑に行われるよう、全漁家世帯について転業希望調査を行なつていまふ。水俣病問題については、県としても問題が解決したと思つておらず、危険海域とされている水俣湾における地元漁業協同組合の密漁監視に対して、水俣市とともにその経費を助成していまふ。今後の沿岸漁業の振興策としては、漁類、海藻類の増殖、流通機構の改善その他について、種々対策を進めていまふとい存じます。

問 芦北郡の人々は、芦北県事務所が廃止か又は他へ統合されるのではないかと心配していまふ。この点について、県の考え方を明確に示して頂きたい。

答 結論から申しますと、何らの改革もしない方針です。



芦北郡町村会長 吉田富士夫氏 (芦北町長)

- | | |
|------|--------|
| 田浦町 | 藤崎 彌熊氏 |
| 芦北町 | 吉田富士夫氏 |
| 湯浦町 | 佐藤 秋男氏 |
| 津奈木村 | 斉藤 龜壽氏 |

問 芦北郡の人は、芦北県事務所が廃止か又は他へ統合されるのではないかと心配していまふ。この点について、県の考え方を明確に示して頂きたい。

答 結論から申しますと、何らの改革もしない方針です。

〈お願い〉

県政モニターの皆さんへ

これまで行つて来ました県政広報の効果を測定し、今後よりよい広報を行なう資料とするために「広報に関する調べ」をすでにお手もとにお届けしましたので、ご多忙中恐れいりますが、12月12日までにご回答下さいませようお願いします。

(広報課)